

カリフォルニアの風（5月号）

「しゅくだい」

青空の中、鯉のぼりが悠々と泳いでいます。「カリフォルニアの風」を正面から吸い込んでいる姿は、みんなが補習校で学ぶことをがんばっている姿と重なります。

さて、今月は、「しゅくだい（宿題）」について、お話します。

この4月から、「宿題を『必須（ひっす）』と『発展（はってん）』に分けて出してください」と、先生方をお願いをしました。その違いを、簡単にお話します。

まずは、「必須（ひっす）」についてです。

あなたは、生まれたときかわいらしくて、純真で、言うことができ、立ち上がり、歩み始め、今に至っています。「守破離（しゅはり）」という言葉聞いたことがありますか。難しそうですが、言わんとすることは、前文と同じで、技術やスキルを身に付け、その道の頂点に達するためには、踏んで行かなければならない段階があるということです。何事もまずは基本を徹底してくり返し、型を覚えることが必要と言っています。

そこで「必須（ひっす）」は、例えていうと、日本語で学ぶ楽しさを感じ始めるようになるまでに行きつくための宿題、と考えてください。その量は少なくともいい。焦らず、じっくりとこなす。慌てずに、基本を徹底してくり返す。そして、出さなければならない期日までにやり遂げよう、という行動にまで変わることを目的にしている「しゅくだい」です。

次は、「発展（はってん）」についてです。

歩み始めた人は、外に出ていろいろなものを発見したり、いろいろなことにチャレンジしたりしてたくさんのことを獲得していきます。私の孫も、外に出るのが大好き！一緒にいるときは、「じいじ、これは？」「あれは？」と、「なあに」の質問の連続です。知的欲求が旺盛で、身に付ける速さも量も驚くほどです。国語辞典（岩波）で「はってん」を調べると、「次の、いっそう高く盛んな段階に移っていくこと」と記述があります。この表現を、あなたはどうか解釈しますか。

私は、「必須」の宿題をやり終えた後、「もう少しできそう」「もっとやりたい」など、日本語で学ぶことへの欲求が高まり、自ら取り組むのが「発展（はってん）」と考えています。「挑戦」と読み替えてもいい。全て正解を求めようとしてやるものではなく、やりかけたけど分からなくて答えを見た、というのでもいい。挑戦してみよう、という習慣が付くことを目的にしています。

みんなの中には、これまで、宿題を、「やらされている」という気分で臨んでいたということはありませんでしたか。量が多くて、どこから手を付けてよいか分からない、終わる見通しが立たない、と思っているところに、周りから「やらなきゃだめでしょ」「どうしてやっていないの」と言われたことがあったのではありませんか。きっと、あなたのことだから、「やらなきゃいけない」ということは分かっている。そうよね。そこを何とかできないか、が今回の「しゅくだい」。

でもね、一つだけ、理解してください。

あなたの周りの人、とくに、お家の人は、「(宿題を) やっていかなくていいのかしら」と心配しているわけ。だから、あなたに伝えてしまうの。その気持ちは分かってくださいね。

では、改めて、あなた方への「しゅくだい」です。

あなたが、まずは「必須」を、じっくりと取り組むことの方がいいと思うなら、

「必須」なら、「私でも、できるぞ!」「やるぞ!」という心に変えましょう。そして、焦らず、じっくり、慌てないで、正確に取り組ましましょう。その姿に、お家の人は、「よくがんばっているね」と、これまでと違う言葉を掛けてくれるようになります。すると、あなたの行動が変わってきます。行動が変われば、いつか、「発展」に挑戦するようになります。

慌てない! あなたには、宿題をきちんと取り組む心があるのだから、未来への新しい道を開いていけると信じて、やってみましょう!

「必須」だけでなく「発展」にも取り組みたいと、あなたが思うなら、

挑戦しましょう! やりかけてみたけど、最後までできなかったでも構いません。挑戦したという事実は残るのだから。それが大事。できなかったら、答えを見ればいい。答えを見て、「あー、そうか」と思うだけでもいい。だって、日本語で考えようと挑戦したんだもの。お家の人も、「あらっ、発展に挑戦しているの」って、声を掛けてくれる。うれしいねー。あなたの行動を認めてくれて、励ましてくれる。それをくり返していくと、いつか習慣付く。習慣付くと、人が変わってくる。習慣が変われば、人格が磨かれる、という感じ。そして、その次のいっそう高く盛んな段階、人格が磨かれれば、将来のなりゆきが変わる、に移っていきますよ!

終わりに、

「必修」、「発展」の何れでも、「しゅくだい」にきちんと取り組むようになれば、自分はここまでがんばれるようになった、と自身の学習態度の変わりようにびっくりすることになるし、何よりも、今度の土曜日の授業の内容は何だったかな、と楽しみになります。そして土曜日を迎え、「しゅくだい」に取り組んできたことで、授業では「わかった」「できた」がより多く実感できる「深い学び」につながり、新たな「学びに向かう力」を育てることになります。

「しゅくだい」に取り組むことは、より主体的に学習に取り組む態度を作り出すためにあるのではないか、と思っています。

来年3月、令和5年度の補習校での一年間が終わる時、補習校に通う「なかま」全員が、先生に、「『発展』の内容を、もっと高いレベルにしてください!」と訴えている、そんな姿を想像しています。

その姿を具体化するように、先ほどまでは、高く、広い青空の中で悠々と泳いでいた鯉のぼりが、今は向かい風をものともせず、前へ、前へ、ぐいぐい進んでいく姿に変わっていました。